

連続シンポジウム「少子化の流れに抗して」

入場
無料

第一回

『消滅する市町村』論を検証する

「地方の消滅は不可避」なのか…？ 昨年月刊誌に掲載され、地方自治関係者に大きな衝撃を与えた、いわゆる「増田レポート」。「地方切り捨て」との批判も強いこのレポートの内容を検証するとともに、逆の流れである「田園回帰」の全国的な状況など、総論的・マクロ的に概況を学ぶ。

日時

2015年
2月21日(土) 13:00~16:30

場所

高知商工会館 (高知市本町1丁目6-24)

〈第1部〉 基調講演

講師：首都大学東京・都市教養学部准教授 山下祐介 氏

〈第2部〉 パネルディスカッション

パネラー(3名)：山下祐介 氏
高橋 公 氏
(NPO 法人ふるさと回帰支援センター代表理事)
武政 登 氏 (黒潮町総務課長)
コーディネーター：中河孝博 氏 (高知新聞社論説委員)



講師：山下祐介 (やました ゆうすけ)

首都大学東京准教授(都市社会学・地域社会学・環境社会学)

1969年生まれ。九州大学助手、弘前大学准教授を経て現職。

著書に、『限界集落の真実 過疎の村は消えるか』(ちくま新書・生協総研賞)、『地方消滅の罨「増田レポート」と人口減少社会の正体』(ちくま新書)など。

公益社団法人 高知県自治研究センター

〈お問い合わせ〉〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目5-47 TEL 088-822-6460

〈後援〉高知県・高知市長会・高知県町村会・高知新聞社・RKC高知放送